

令和2(2020)年度事業計画

今期は、公益社団法人へ移行して8年目の年であり、協会創立60周年を迎える節目の年となります。協会の公益活動「不特定、多数の人々への貢献」の更なる推進と具現化の年と位置付けます。

I. 令和2年度事業計画(案)

I 公益事業

(1) パッケージデザインに関する調査・研究及び情報の収集・発信事業

1) 調査研究事業

● 調査研究成果の発表、及びWEBサイト用資料の作成

2018年度から進めてきた「社会課題とパッケージデザイン」に関する調査研究活動、及び、3回に渡り開催した研究発表会「パッケージデザインの価値はどうなるのか」でのディスカッション内容を整理し、発表する。具体的には、WEBサイト「情報の森」サイトにレポートを掲載するとともに、包装業界人が多く訪れる展示会「TOKYO PACK 2021」(公社)日本包装技術協会主催 2021年2月24日～26日 東京ビッグサイト)の企画展示「パッケージデザインパビリオン」に出展し、期間中に開催される「パッケージデザインセミナー」で報告を行う。また、並行してパッケージデザイン「情報の森」サイトや既存コーナーへのレポート記事の更新・追加を行う。

2) アーカイブ事業

D-8デザインミュージアムに対応するJPDAの資料作成、及び、JPDA独自の資料アーカイブ化に向け、1985年から実施されている日本パッケージデザイン大賞の大賞・金賞作品の収集をスタートした。今年度も継続して作品収集及び、資料整理を行い、JPDA アーカイブ委員会サイトへの作品情報の更新を行うとともに、大賞・金賞受賞者へのインタビュー録画「声のアーカイブ」活動も継続し、会員専用ページへの掲載を続ける。また、今年度はアーカイブ委員会第3回セミナーの開催を検討している。

3) 広報事業

『JPDA MAGAZINE』は協会員はもとより、協会外への発信ツールとして充実した情報をまとめ、年2回発行する。また、創立60周年を迎える今年度は2021年2月に、6つの記念事業の実施結果をまとめた60周年特集号として発刊したい。

4) インターネット事業

● インターネット、メールメディアによるJPDAの広報活動、及びマイワークスの運営を継続して進める。

- ① 協会ウェブサイト(一般/会員)の企画・運営、掲載情報の更新
- ② メールによる会員への迅速な報告・連絡の推進、SNS活用による一般への情報発信
- ③ 情報発信機能の強化を目的とした継続的なサイトの保守・改修

2020年度は、前年度のサイトリニューアルを踏まえ、SNS活用による情報発信強化に注力したい。

(2) パッケージデザインに関する公募、審査、受賞者の発表、及び贈賞に関わる事業

1) コンペティション事業(日本パッケージデザイン大賞AWARDS)

今年度は60周年記念事業として、初めての画像審査(一次審査)を取り入れ、「日本パッケージデザイン大賞2021」を実施する。3/2～4/3に作品応募、5月中旬に一次審査、7月下旬に二次審査、2021年1月に贈賞式を行い、2月下旬に東京ビッグサイトで開催される「TOKYO PACK」で入賞作品の第1回目の巡回展を行う予定。

2) 贈賞事業(JPDAパッケージデザイン功績賞)

パッケージデザインの社会的重要性の認識を高め、日本のパッケージデザインの向上に寄与した奇人、または、法人に贈るJPDAパッケージデザインの功績賞は2名の外部審査員と24名のJPDA理事の賛同により、今年度はJPDAの前理事長 加藤芳夫氏に贈ることとなった。

5月末の通常総会後に贈賞式と加藤芳夫氏の記念講演会を、広くパッケージデザイン関係者を対象に開催する。また、講演会終了後に、顕彰者を囲んでの交流会を開催する。

(3) パッケージデザインに関する展覧会事業

1) 展覧会事業

a) 創作展「みらいパッケージ展」

今年度は、平成28(2016)年度の「日本を包む展」、平成30(2018)年度の「感じるパッケージデザイン展」に続く第3回目の創作展「みらいパッケージ展」を東京(渋谷ヒカリエ)・奈良(奈良公園バスターミナル)で開催する。今回は60周年記念事業の一つとして、これまでの『3回の展覧会を纏めた図録』を東京開催の9月に発刊する。また、東京展ではオープニングイベントを実施する予定である。

b) 企画展「日本のパッケージ 縄文と弥生のデザイン遺伝子 複雑とシンプル」

JPDA創立60周年事業として、パッケージデザインの魅力と価値を国内外にアピールする展覧会「日本のパッケージ 縄文と弥生のデザイン遺伝子 複雑とシンプル」を2020年8月1日～10月14日の間、凸版印刷博物館と共催する。東京オリンピック、パラリンピック開催時期と重なることもあり、国内外の文化交流という点においても有意義な事業となる。展覧会開催中に講演会・トークショーの開催を検討する。共催の費用内訳は、図録制作費はJPDA、印刷製本費は印刷博物館が負担。また、トークショーの諸謝金等の費用は印刷博物館が負担するが、オープニング時の飲食費用はJPDAの負担とする。

c) 「日本パッケージデザイン大賞2021」巡回展

今年度は60周年記念事業として、2021年2月24日～26日に東京ビッグサイトで開催される「TOKYO PACK」でJPDA大賞2021の入賞作品を展示する巡回展を行う。合わせて、いままで巡回展の実績のあった大阪成蹊大学（6月）、凸版印刷博物館（9～11月）、富山デザインフェア（10月）用の展示キャプション等の制作も行う予定。

(4) パッケージデザインに関する各種セミナー・育成事業

1) セミナー事業

(a) 東日本

当初は2020年2月開催で進めていたが、コロナウィルスの影響で2020年度に延期することになった。

内容はいままで検討してきた：「トークカフェ2020 Package Designer 先輩×後輩」とし、主に若手中堅層をターゲットに、パッケージの新たな可能性や、交流促進につながるイベントを開催する。

(b) 中日本

① 愛知・岐阜地区

しばらく実施していなかった活動をJPDA設立60周年記念事業として、中心都市である名古屋でチャレンジする。具体的には日本パッケージデザイン大賞2021の巡回展（全入賞作品を展示）か昨年度アーカイブ委員会が行った「1985年～2021年の日本パッケージデザイン大賞 金賞以上受賞作品展」のいずれかの開催を検討する。また、期間中にパッケージデザインに関するトークショー開催も併せて検討する。

② 北陸地区：富山デザインフェアへの共催

パッケージデザインや広告・ポスター・ディスプレイなど県内外の創造性豊かな商業デザインジャンルの優秀作品を一同に展示し、広く一般や企業の方にアピールするデザイン振興イベント「富山デザインフェア」に共催する。富山市主催の「パッケージデザインコンペティション」入賞作品、及び、JPDA北陸会員の作品展を開催する予定。

③ 北陸地区：「JPDA Talk Café 2019 in TOYAMA」（若手デザイナー育成セミナー）

次世代のパッケージ業界を担う若手デザイナーと学生を対象としたトークイベント。2013年から開催し今年度で8回目の開催となる。開催地を富山と金沢を隔年で変更することにより各地域のデザイナーとの新しい交流も活性化している。

(c) 西日本

① 「勉強会（Ⅰ）と総会報告会」

主に西日本の会員を対象に、東京で開催される通常総会の報告会を開催する。同時に、パッケージデザインに関わる事業や人材育成に資するセミナーを開催する。（令和2年6月開催予定）

② 「勉強会（Ⅱ）」

会員及びパッケージデザインに関わる人々を対象に、パッケージデザインに関わる「造形」、「素材・加工」、「製造」、「文化」、「ビジネス」などをテーマにした勉強会を2回開催する。

2) デザイン保護事業

a) デザイン保護と知的財産権の知識共有を目的にウェブサイトによる情報発信を継続する。

b) デザインの知的財産権保護をテーマとした知財セミナー(初級編)を開催する。

(令和2年9月以降の開催を予定)

また、日本デザイン団体協議会（D-8）主催のデザイン保護研究会への参加を継続する。

3) 教育事業

a) JAGDA × JPDAのデザイン交流会（2回目）

一昨年まで実施していたパッケージデザインに携わる若手デザイナーをメインターゲットにしたワークショップに代わり、昨年開催して大好評だったJAGDA×JPDAのデザインセミナーの2回目を開催する。昨年のセミナーでは非会員、学生の方々も数多く出席され、JPDAの活動を広く一般にアピールするには効果的な場になると考える。

b)パッケージデザインの学校

60周年記念事業の一環として、「最強の発注者を養成する」ことを目的とした、パッケージデザインに関する広範囲の知識を取得していただくための学校を6月～7月の6日間開校開催する。これはJPDAとして初めての試みである。受講者から高い評価が得られた場合、2021年度以降の継続も検討する。

(5)パッケージデザインに関する国内・国際交流事業

1)国内交流事業

●「JPDAデザイン会議」：「JPDA60周年 アジアパッケージデザイン会議」との同時開催

東京に次ぐ第4回目のJPDAデザイン会議を、西日本委員会、国際交流委員会と連携をとりながら、**60周年記念事業**として、APD（アジアパッケージデザイン会議 in NARA）と同時期（令和2(2020)年11月12・13日）に奈良市春日野国際フォーラム「麓」において開催する。

2)新年交流事業

a)東日本：「新年デザイン交流会」

当初は2020年2月開催で進めていたが、コロナウィルスの影響で2020年度に延期することになった。内容はいままで検討してきた：「トークカフェ2020 Package Designer 先輩×後輩」とし、主に若手中堅層をターゲットに、パッケージの新たな可能性や、交流促進につながるイベントを開催する。

b)西日本：「勉強会(III)+新年デザイン交流会」

パッケージデザイン関係者を対象にした新年交流会を開催する。また、幅広い層の人々に興味を持たれる勉強会を同時開催とし、参加者の啓発とネットワーク作りに役立てていただく。（令和3(2021)年2月開催予定）

3)国際交流事業

a)「アジアパッケージデザイン会議(APD NARA 2020)」

最大の60周年事業、アジアパッケージデザイン会議 in NARA（APD NARA 2020）を国内のデザイン会議と同時期（令和2(2020)年11月12～13日）に奈良春日野国際フォーラムで開催する。APDは、アジアの文化交流・人的交流・パッケージデザイン向上を以て、アジアの生活文化の発展に寄与することを目的とした国際会議で9回目を迎える今回は韓国・上海・台湾・日本に加えてタイが正式メンバーとして参加する予定である。

b)海外デザイン視察準備

隔年に実施している海外デザイン視察（前回は2018年度）だが、2020年度はJPDA創立60周年のイベントが数多くあったため、2021年度の実施に向けた準備を進める。現在デザイン事務所のアウトプットクオリティが高いロンドン候補地として、現地のデザイン事務所とコンタクトがとれる関係者を通じて、視察準備を進める予定である

c)アスパック

独立行政法人国際交流基金と(一社)アスパック協会が推進するアジア学生パッケージデザイン交流プロジェクトのパッケージデザインコンペティションで選出された優秀作品を、JPDA賞を設け顕彰する。

(6) 出版事業

(1)年鑑出版

日本パッケージデザイン大賞2021の入賞・入選作品を掲載した『年鑑 日本のパッケージデザイン2021』を令和3(2021)年5月に発刊する。

(2)パッケージデザイン・インデックス

最新の日本のパッケージデザインに関する作品と技術を網羅し、パッケージとブランディングに関わる全ての人に役立つ作品集『Package Design Index 2022』を令和4(2022)年5月の発刊を目指して企画制作を進める。

II 収益事業

(1)アジア学生パッケージデザイン交流プロジェクトの受託事業

独立行政法人国際交流基金とアスパック協会が推進するアジア学生パッケージデザイン交流プロジェクトを受託し、パッケージデザインコンペティションをJPDAの持つノウハウを活用して推進する。今年度は、地域を東アジアに拡大してから6回目のパッケージデザインコンペティション&贈賞式及び入賞作品の巡回展を開催する。今回のコンペティションは日本・韓国・中国・台湾・タイ・インドネシア・シンガポール・マレーシア・ベトナム・フィリピンにインドが加わり参加国は11カ国にまで拡大している。また、昨年初めて実施した「オリンパック」（アジアに留まらず、欧米を含めた18カ国の学生を対象とした、PCを駆使した短時間のパッケージデザイン制作のコンペ）は好評で、今年度2回目の実施を予定している。

III 法人事業

(1) 総務事業

令和2(2020)年の事業カレンダーと令和3(2021)年JPDA会員名簿の作成を継続する。